

湘南ペガサス40周年記念寄稿

湘南ペガサス総務
60監督 菅浦 義治

湘南ペガサスが設立された40年前、私自身はまだ20代前半、その頃は一生サッカーを続けるか否か、などと考えもしませんでした。いや、考える環境が無かったといった方が正しいかもしれません。ところが、今では40代から70代まで県リーグほか、県外の大会もたくさん有り、健康であれば一杯サッカーができ、私自身も現在60才過ぎて依然としてサッカーが出来る環境があります。これはひとえに、ペガサス設立からご苦労いただいた柳川先輩・中原先輩・井上先輩をはじめとする諸先輩方々のたいへんなご努力の結果と、今更ながらに感謝する次第です。そのような中で、私は死ぬまでサッカーを続けると決心し、老化する身体と対決しながらサッカーを続けている今日この頃です。また、その身体を維持するために協力いただいた湘南高校サッカー部の後輩にも感謝しています。私は一昨年(2019年)の10月サッカーの試合中に左肩から地面に落ちて鍵盤断裂という意外にも重い怪我をしました。近隣で周知の整形外科に一年近く通院しましたが、痛みが取れず医師の信頼が薄れていました。そのようななか、湘南高校サッカー部OBの後輩である鈴木栄一Dr(55回)・大沼Dr(59回)にメールで助けを求めたところ、二人とも即日返事をくれました。そして、鈴木Drの紹介で八王子整形の中井Drに手術をしていただきました。今現在は、痛みも取れ筋力アップに励んでいるところです。

そのような経緯からも、私のサッカー人生は湘南ペガサスと湘南高校OB会にご恩があるので、そのご恩返しをすべく今後活動し、湘南高校サッカー部OB会の維持・継続・発展と共にその人脈を通じて湘南ペガサスの維持・継続・発展に尽力する所存です。

鈴木中先生に還暦の時にいただいた色紙の「継続は力なり」を座右の銘にして、これからも自身のサッカーを継続するだけでなく、湘南ペガサスの維持・継続・発展に貢献したいと思います。